

各 位

西武鉄道株式会社

【お詫び】青梅街道駅での過走による踏切への誤進入について

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：白山 進）では、8月4日（水）、19時42分頃、多摩湖線青梅街道駅隣接の踏切において、当該駅所定の停止位置を過走し、遮断桿が完全には降下していない状態で、電車の先頭車両の一部が進入する事象が発生しました。

ご利用のお客さま、ご通行の皆さま、近隣にお住まいの皆さまをはじめ、関係者の皆さまにはご心配、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

当社では、本件を厳粛に受け止め、安全対策の徹底を図り再発防止に取り組んでまいります。

詳細につきましては下記のとおりです。

記

1. 発生日時 2010年8月4日（水）19時42分頃
2. 発生場所 多摩湖線 青梅街道駅隣接の踏切  
【一橋学園第4号踏切：東京都小平市小川町2-1328】  
【青梅街道駅：東京都小平市小川町2-1846】  
踏切道幅員：約14.2m 道路幅員：15.6m～14.9m
3. 当該電車 各駅停車国分寺行き【西武遊園地駅始発（19時30分）・4両編成】
4. 状 況 ① 前駅の萩山駅を定刻に出発し、次の青梅街道駅に停車する際、運転士のブレーキをかけるタイミングが遅れ、非常汽笛を吹鳴しながら、停止位置を約30.5m行き過ぎ、駅隣接の踏切に先頭車両部分が約7.1m進入して停止しました。その際、踏切の警報機は正常に点滅、鳴動の動作をしていましたが、4本（片側2本ずつ）ある遮断桿のうち2本（片側1本ずつ）が完全には降下していない状態でした。（踏切内に歩行者・自転車・自動車等はなし）  
② 当該電車はワンマン運転のため、運転士は運転位置を変更し、当該駅の所定の停止位置に直してから約4分遅れで運転を再開しました。
5. 負 傷 者 なし
6. 原 因 運転士がブレーキをかけるタイミングを誤ったため。
7. 対 策 (1)全運転士に対し、停止ブレーキの取扱いについて指導を徹底します。  
(2)当該運転士に対し、再発防止教育を実施します。

以上